

一般用医薬品のリスク区分

参考資料1-2

分類	第1類医薬品	第2類医薬品	第3類医薬品
薬事法、薬事法施行規則上の規定	<p>・ <u>その副作用等により日常生活に支障を来す程度の健康被害を生ずるおそれがある医薬品であって、その使用に関し特に注意が必要なものとして厚生労働大臣が指定するもの</u></p> <p>・ <u>新一般用医薬品として承認を受けてから厚生労働省令で定める期間を経過しないもの</u> <small>(一般用医薬品としての使用経験が少ない等安全性上特に注意を要する成分を含むもの)</small></p>	<p><u>その副作用等により日常生活に支障を来す程度の健康被害を生ずるおそれがある医薬品であって厚生労働大臣が指定するもの</u></p> <p>※第一類医薬品を除く <small>(まれに入院相当以上の健康被害が生じる可能性がある成分を含むもの)</small></p> <p>【指定第2類医薬品】</p> <p>・ <u>第二類医薬品のうち、特別の注意を要するものとして厚生労働大臣が指定するもの</u> <small>(薬局開設者、店舗販売業者等は、 ・情報を提供するための設備から7m以内の範囲に陳列する ・「指定第二類医薬品を購入等する場合は、当該指定第二類医薬品の禁忌を確認すること及び当該指定第二類医薬品の使用について薬剤師又は登録販売者に相談することを勧める旨」を購入者が確実に認識できるようにするなどの措置をとる)</small></p>	<p><u>第一類及び第二類以外の一般用医薬品</u> <small>(日常生活に支障を来す程度ではないが、身体の変調・不調が起こるおそれがあるもの)</small></p>
質問がなくても行う情報提供	文書による情報提供義務	努力義務	不要
相談があった場合の応答	義務		
対応する専門家	薬剤師	薬剤師又は登録販売者	